

教科	1学期前半内容別指導の分析	観点別結果の分析	内容別・観点別・学力調査観点別のクロスの分析
国語	・物語文の読解では、内容や場面の様子を読み取ることはだいたいできる。 ・説明文では、段落構成を的確にとらえたり、要旨を読み取ったりすることは十分でできなかった。 ・漢字の定着に個人差がある。また全体的に漢字を読むことはできて、既習の漢字を使って文章の中で使うことが苦手な子が多い。 ・読書については、個人差が大きい。好きな子は、様々なジャンルの本をたくさん読んでいます。全体的には読書が好きな児童が多い。今後も読書旬間などの機会に本に親しませるような工夫も考えたい。	・「話す・聞く」は、聞き取るべき中心の事柄の把握が不十分だった。話の内容をまとめることが十分にできなかった。 ・「書く」では、ある程度まとまった文章を書くことはできる。しかし、より詳しく表現しようとか、効果的に表現しようという意欲が足りないように思われる。 ・「言語」では、大体理解しているが十分に定着しているとはいえない。覚えた漢字も日ごろの文章の中で使うことができていないことが多い。 ・「読む」では、他の観点に比べ落ち込んでいる。問題文の内容の読み取りができなかった。	・東京都学力調査の結果では、国語の「読む」について、72.1%の正答率であった。東京都の正答率を8.9%上まわっている。授業中に内容や場面の様子を丁寧に読み取っていることや全体的に読書が好きな児童が多いこと、読書旬間で本に親しんでいる結果と言える。授業においては、今後も叙述に沿って様子を読み取りながら、同時に気持ちも考えさせるような指導を丁寧に行っていきたい。 ・「書く」では、69.4%の正答率でこれも東京都の正答率を8.6%上まわっている。基本的な文章を書くことはできているが、間違いを正したり、文を推敲したり、よりよい表現に書き直したりする経験を多く積ませたい。そして、よりよい表現ができるように授業を工夫していきたい。 ・「言語」では、63.5%と東京都の正答率を2.2%上まわっている。他の観点と比べて若干、正答率が低い。覚えた漢字については、しっかりと定着できるよう日頃から指導していく。読み解く力に関しては、東京都の正答率を2%～6%上回ってはいるが、国語に限らず他の教科や総合的な活動の時間などでも意識して力をつけていきたい。 ・「話す・聞く」では、79.1%と東京都の正答率を4.9%上まわっていた。要点をおさえながら聞くと同時に、話者の言いたいことを考えることを意識させるようにしたい。
算数	・計算のきまりについては、ほぼ理解できているものの、実際に計算するときに、どのようなきまりを適用するとよいかを考えることが十分にできていない。 ・「小数のかけ算」では乗数が小数の場合の乗法の意味や計算の仕方について既習事項を十分に活用し、定着させることができた。 ・「小数のわり算」では、文章問題を正確に読み取り、立式するための手立てが十分ではなかった。 ・図形の性質や特徴についての理解が不十分である。いろいろな四角形の特徴をなんとなくはイメージできているが、辺や角、対角線などの特徴を正しく理解できていない子が少なからずいる。	・正しく計算したり、図形を書いたりする技能については、きちんと身につけている子が多い。反面、技能の不十分な子は、粘り強く取り組む姿勢が足りないように感じられる。 ・既習学習を生かして、多様な考え方を出すことができるように指導を工夫し続けていく必要がある。 ・問題文や条件を表した図をもとに、2つの数の関係を正しく読み取るような力が不足している。文を正しく読み取って、2つの関係をイメージしたり、数直線や図に表したりする経験を多くもたせるようにさせたい。	・東京都学力調査の結果から、どの観点も東京都の正答率を上回ることができている。「関心・意欲・態度」は、2.4%。「思考・判断・表現」は、14.5%。「技能」は、3.8%。「知識・理解」は、7.4%上まわっている。読み解く力に関する内容では、「取り出す力」が、1.1%。「読み取る力」が、6.2%「解決する力」が1.6%、東京都の正答率を上まわっている。 ・能力的には高いものがあるが、「関心・意欲・態度」の正答率から分かるように、算数の楽しさや喜びを感じられるような授業を工夫する必要がある。その中で、いろいろな考えを導き出したり、表現したりする姿勢を引き出していきたい。 ・「解決する力」では、「めあて」から「わかったこと」までを形式を整えて書くノートづくりの方法を指導する。また、自力解決で考えたことをノートにわかりやすく書いたり、友達にわかりやすく説明したりする活動を多く取り入れるようにする。 ・「読み解く力」については、何を問われているかを考えたり、粘り強く読み取ろうとしたりすることが苦手な子がいる。